

第9回

日本時間生物学会・名古屋

会期：2002年11月14日（木）、15日（金）

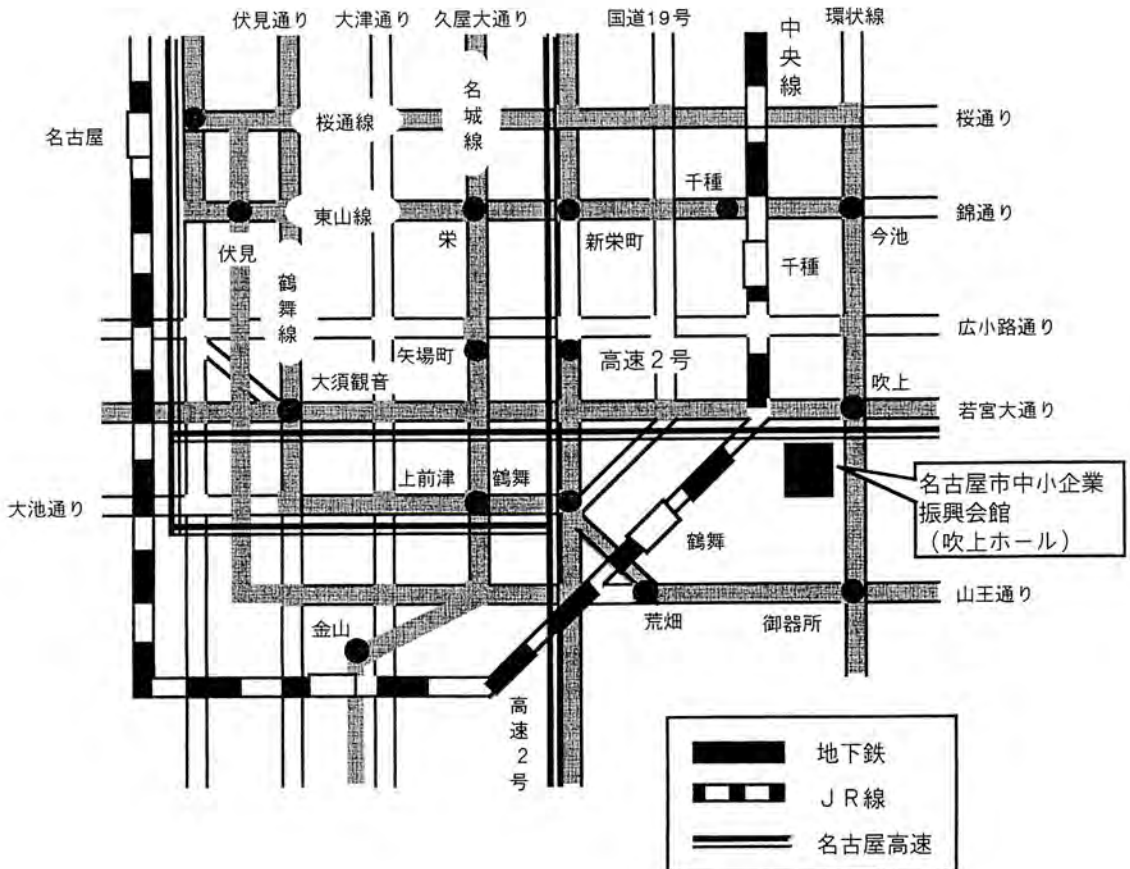
会場：名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）

[〒464-0856 名古屋市千種区吹上二丁目6番3号
TEL 052-735-2111, FAX 052-789-2116]

会長 太田龍朗

名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野

交通案内



<公共機関を利用>

●名古屋駅から

「名古屋駅」→(地下鉄桜通線 野並行)→「吹上」

「吹上」5番出口から徒歩5分

※名古屋駅からの所要時間 約25分

<車を利用> (駐車場約500台/有料)

●東名高速名古屋インターから

名古屋インター→今池交差点まで西進し、左折→

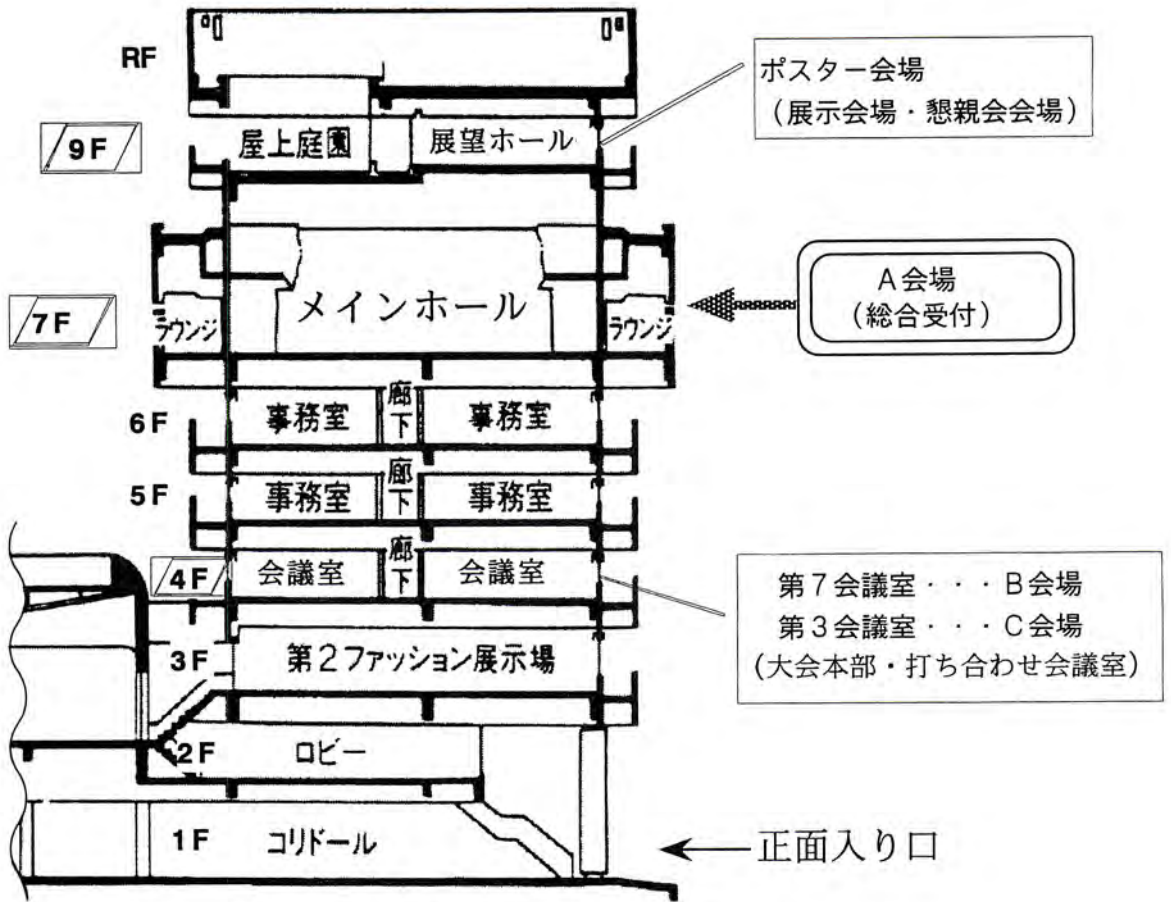
中道交差点まで南進し、右折→西へ約500m

※東名高速名古屋インターからの所要時間 約40分

<名古屋高速道路(都市高速)を利用>

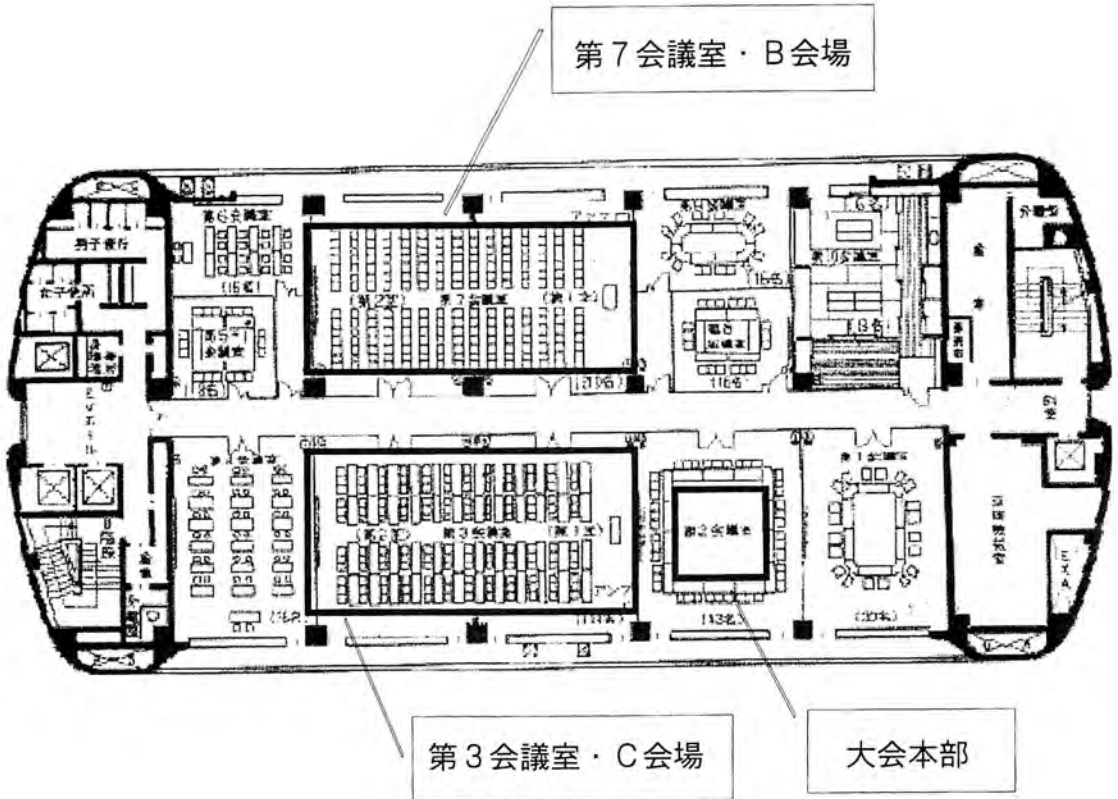
●名古屋高速吹上出口、南東すぐ

会場案内図



<会場の縦断面>

4階フロア図



参加者・演者・座長の皆様への御案内

I. 大会参加のみなさまへ

1. 参加受付は11月14日・15日とも午前8時30分から7階A会場（メインホール）受付にて行います。当日参加の方の参加費は6,000円です。その際、ネームプレートを受け取り、所属・氏名を御記入下さい。会場内では必ずネームプレートを着用下さい。
2. 懇親会参加の受付も行っておりますので、懇親会費5,000円をお支払い下さい。
3. 発表される方で、学会に未入会の方は、受付で入会手続きをお済ませ下さい。年会費は3,000円です。時間生物学会会員でない方が大会に参加される時は、正会員の紹介による臨時会員の手続きが必要です。大会受付にお申し出下さい。尚、参加費には発表要旨（予稿）集は含まれません。必要な方は1部1,000円でお分けいたします。会員で年会費未納の方も受付にてお支払い下さい。

II. 特別講演、ミニレクチャー、シンポジウム、ワークショップ、ランチョンセミナーおよび市民公開講座の演者のみなさまへ

発表時間に記載されている時間を原則としますが、座長の指示に従って下さい。

スライド、OHP、液晶プロジェクターいずれも使用可能です。

各種プロジェクターは1会場に1台とします。スライド受付は各会場の入口付近にあります。各自スライド試写を行い、確認のうえ預り証をお受け取り下さい。前発表者の登壇後、次演者席にお着き下さい。セッション終了後、スライド預り証と引き換えにスライドをお受け取り下さい。

パソコン発表を御希望の方は、別記の指示に従ってお願い致します。

III. 一般演題の演者のみなさまへ

1. 口演の発表時間は15分（発表12分、討論3分）です。時間を厳守して下さい。各会場ともスライド（35mm）、OHP、液晶プロジェクターのいずれも使用可能ですが、OHP使用の場合は、前もってスライド受付に御連絡下さい。

またパソコンによる発表はその旨受付に申し出ていただき、下記の指示に従って行って下さい。

スライド枚数は 10 枚以内とし、各自スライド試写を行い、間違いのないことを確認した後、スライド預り証をお受け取り下さい。前発表者の登壇後、次演者席にお着き下さい。セッション終了後、預り証と引き換えにスライドをお受け取り下さい。OHP はご自分で操作をお願いいたします。

パソコン発表について

1. パソコン本体はご自分でご用意下さい。(メディアのみの受付はいたしません)。
2. 作動不能の事態も考慮し、バックアップ用のスライドをお持ち下さい。
3. 各発表者ごとに講演台にご自身のパソコンを設置して、ご自身で操作していただきます。
4. パソコンの設定で、外部画面出力となっているか予め各自準備確認して下さい。
5. 外部出力端子は D-sub15 ピン (ミニ) を用意しております。特殊なアダプターが必要な場合各自でご用意下さい。(例えば VAIO ノート等では外部ディスプレイにつなぐ専用アダプターが必要な場合があります)
6. パソコン設定確認のため演者受付に試写用モニターを用意しております。口演開始 30 分前には、演者受付で試写をお済ませ下さい。実際に外部画面につないでいただき、表示可能か確認していただきます。この設定確認は 1 時間以上前 (できれば、会場に到着されたらまず初めに立ち寄ってください) までに行ってください。直前に確認され、万一外部画面に映らない場合はパソコンプレゼンテーションが不可能となる場合も考えられます。
7. 口演会場に入られましたら、次演者席についてパソコンの接続・立ち上げなどの準備をして下さい。

2. ポスター発表の方へ

ポスターの掲示は、14 日午前 11 時 30 分までに所定の位置をお願いいたします。期間中は 14 日午前 12 時より 15 日午後 4 時まで掲示といたします。

ポスター発表は、大会第 1 日の 14 日 15 時より 16 時までと、15 日 13 時か

ら 14 時まで各 1 時間行います。14 日は奇数番号の演題 (P₁, P₃, P₅…P₄₅)、15 日は偶数番号 (P₂, P₄, P₆…P₄₄) としますので、その間演者はご自分のポスターの前に待機して、質疑応答をしていただきます。

ポスターは横 120cm×縦 180cm の展示ボードに収まるようにし、タイトル、所属、氏名、本文を横書きで用意して下さい。添付に必要なピンは用意いたします。大会 2 日目の 15 日午後 4 時までにはポスターを撤収して下さい。

IV. 座長のみなさまへ

セッション開始 20 分前までに各会場前のスライド受付にお越し下さい。

開始 10 分前までに次座長席にお着き下さい。進行・討論の方法はご一任いたしますが、定時運営にご協力下さい。

V. その他

大会期間中ご不明な点がございましたら、大会受付 (7 階メインホール前) または大会本部 (4 階 第 2 会議室, 内線 2040) にお問い合わせ下さい。

昼食は館内にレストラン (1 階) がありますが、ランチオンセミナーにお弁当を用意いたします。また 9 階展望ホールに休憩コーナーを設けておりますので、期間中ご利用下さい。

VI. 書籍・機器展示

第 1 日 (14 日) の正午より、第 2 日 (15 日) 午後 4 時まで展望ホールに設置されますので、ご来場下さい。

VII. 懇親会

第 1 日の 14 日 (木) 午後 6 時 30 分より 9 階展望ホールで行いますので多数ご参加下さい。

大会にともなう会議・委員会

○国際時間生物学会 (WCC) 組織委員会 :

11 月 13 日 (水) 15 : 00 ~ 16 : 30

名古屋大学医学部鶴友会館 2 階 大会議室 (名古屋市昭和区鶴舞町 65)

○理事会

11月13日(水) 17:00~20:00

名古屋大学医学部鶴友会館 2階 大会議室

○会誌編集委員会

11月14日(木) 12:00~13:00

名古屋市中小企業振興会館 4階 第1会議室

大会本部事務局(期間中)

〒464-0856 名古屋市千種区吹上2丁目6-3

名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール) 4階 第2会議室

TEL 052-735-2111(内線2040)

/052-735-2040(直通)

大会事務局

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65

名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野

[事務局担当: 稲田俊也、北上富常、加藤真二郎、高橋長秀]

事務担当: 伊藤節子 E-mail itos@med.nagoya-u.ac.jp

TEL 052-744-2282/2283、FAX 052-744-2293

第1日

11/14(木)				
	A会場 メインホール	B会場 第7会議室	C会場 第3会議室	展望ホール
	(7階)	(4階)	(4階)	(9階)
9				
10	A-I 一般演題 (臨床・11題) A1~A11	B-I 一般演題 (基礎・8題) B1~B8		
11				
12		ランチョンセミナー I 千葉喜彦	ランチョンセミナー II 内村直尚	
13	総会			ポスター展示
14	特別講演 Rae Silver			
15				Discussion (奇数番号)
16				
17	シンポジウム I [S-I] S1~S5			ポスター展示
18				
19				懇親会
20				

第2日

11/15(金)				
	A会場 メインホール (7階)	B会場 第7会議室 (4階)	C会場 第3会議室 (4階)	展望ホール (9階)
9				
10	シンポジウムⅡ 〔S-Ⅱ〕 S6～S10	B-Ⅱ 一般演題 (基礎・7題) B9～B15		ポスター展示
11				
12	ミニレクチャー			
13		ランチョンセミナーⅢ 高橋清久	ランチョンセミナーⅣ 永井克也	
14				Discussion (偶数番号)
15	ワークショップ 〔W〕 W1～W5	B-Ⅲ 一般演題 (基礎・8題) B16～B23		ポスター展示
16				
17				
18				
19	市民公開講座			
20				

第9回日本時間生物学会・名古屋

プログラム

<11月14日(木)>

A会場(7階メインホール)

8:55- 9:00 開会の挨拶 大会会長 太田 龍朗

9:00- 11:45 一般演題口頭発表(臨床:A-I)

- 座長 藤田保衛大・医 中沢和美
- A1 心拍変動ULF成分における8時間周期の意義について
東京女医大・医 村上省吾
- A2 血圧のモーニングサージは夜間血圧下降度に依存した現象か?
東京女医大・医 久保豊
- A3 低血圧の血圧日内変動についての検討
東京女医大・医 渡辺尚彦
- 座長 山梨医大・医 碓氷章
- A4 睡眠覚醒リズム障害における治療前後の生体リズムマーカーの変動に関する検討
熊本大・医 上土井貴子
- A5 幼児期の睡眠習慣の特徴は、就学後も持続するか(その3)
福島大・教 福田一彦
- A6 保育園児の朝型一夜型度と睡眠習慣についての疫学研究
高知大・教 原田哲夫
- 座長 国立精神・神経センター 梶村尚史
- A7 季節性感情障害(SAD)における3次元人格評価尺度(TPQ)を用いた人格特性の解析
名古屋大学・医・前野信久
- A8 時差飛行のシミュレーション
東北大学・情報科学 中尾光之
- A9 Restless Legs Syndrome が病因となった睡眠相後退症候群の1例
杏林大学・医 門脇太郎

座長 東京女医大・医 大塚邦明

A10 Mem Calc/ Win による Cannon wave の解析

阪大・医 西村信哉

A11 ヒト胎児の妊娠後期における循環器系自律神経機能の変化

藤田保衛大・医 中沢和美

13:00- 14:00 総会

14:00- 15:00 特別講演

座長 本間研一 (北大・医)

『How the Brain Clock is Built: Expression of Clock Genes and
Proteins as a Guide to Understanding SCN Organization』

Prof. Rae Silver (Columbia University)

16:00- 18:30 シンポジウム I (S-I)

分子時計の解明とその展開 ~分子から個体レベルまで

Organizer・座長 海老原史樹文 (名大・生命農学)

岡村均 (神戸大・医)

S-1 体内時間制御機構

岡村均 (神戸大・医・脳科学)

S2 時計蛋白質による時計遺伝子制御

西田栄介 (京都大学・生命科学)

S3 多振動体時計のリズム発振

本間さと (北大・医・統合生理)

S4 システムバイオロジーによる概日時計の分子機構の解明

上田泰已 (東大・医学系研究科)

S5 鳥類の光周性の制御機構

吉村崇 (名大・生命農学)

B 会場（4階 第7会議室）

9:30- 11:30 一般演題口頭発表（基礎：B-I）

- 座長 近大・医 重吉康史
北大・医 安倍 博
- B1 *Per1* 過剰発現ラットの光に対する位相反応
山口大・理工 梅田奈苗
- B2 フォルスコリン投与時の *rPer1* mRNA 発現誘導における刺激伝達経路
近大・医 藤岡厚子
- B3 急激な LD サイクルのシフト後、視交叉上核腹外側部にあらわれる振
動子について 近大・医 重吉康史
- B4 *rat-1* 細胞においてグルコース投与により誘導される *Per* 遺伝子発現量
の低下と時計遺伝子の発現リズム 東大・理 広田毅
- B5 *mCRY1* および *mCRY2* のリン酸化と機能制御
東大・理 原田裕子
- B6 CaM キナーゼ II による時計遺伝子 *Per1* の誘導機構
東北大・薬 福永浩司
- B7 bHLH 型転写因子 *DEC1* 遺伝子の *CLOCK/ BMAL1* および *DEC1/2* によ
る発現調節 広島大・医歯薬 河本健
- B8 新規時計遺伝子 *DEC1, DEC2* の末梢組織における役割
広島大・医歯薬 能城光秀

12:00- 13:00 ランチョンセミナー（I）

座長 太田龍朗（名古屋大・医）

- L-1 Comparative chronobiology のすすめ 山口大学名誉教授 千葉喜彦
-

C会場（4階 第3会議室）

12:00-13:00 ランチョンセミナー（II）

座長 内山真（国立精神・神経センター）

L-2 生体リズムと睡眠障害

久留米大・医 内村直尚

展望ホール（9階）

12:00-13:00

懇親会

<11月15日(金)>

A会場(7階メインホール)

9:00- 11:30 シンポジウム II (S-II)

遺伝子発現と治療薬からみた体内時計研究

Organizer・座長 柴田重信(早稲田大学)

尾崎紀夫(藤田保健衛生大学)

- S6 感情障害治療薬と体内時計遺伝子発現
柴田重信(早稲田大学・人間科学)
- S7 季節性感情障害や睡眠リズム異常とヒト時計遺伝子多型
海老澤尚(埼玉医科大学・精神)
- S8 気分障害の病態解明を目指して～セロトニン系遺伝子を候補遺伝子とした
アプローチ 尾崎紀夫(藤田保健衛生大学・精神)
- S9 メラトニン受容体アゴニスト TAK375 の睡眠誘発作用
宮本政臣(武田薬品工業・創薬第一研究所)
- S10 エネルギー恒常性と覚醒の制御におけるオレキシン神経の役割
桜井武(筑波大学・基礎医学系)

11:30- 12:00 ミニレクチャー

座長 近藤孝男(名古屋大・理)

生物時計の父:エルヴィン・ヒュニング(1906- 1990)

田澤仁(東大・理学部)

14:30- 17:00 ワークショップ (W)

時間治療の最前線

Organizer・座長 大塚邦明 (東京女子医科大学)

藤村昭夫 (自治医科大)

W1 時間診断に基づく時間治療

久保豊(東京女子医大・第二病院内科)

W2 血管内皮末梢時計からみた心臓病の治療戦略

前村浩二(東京大学医学部・循環器内科)

W3 時間薬理学に基づく時間治療

鶴岡秀一(自治医科大学・臨床薬理学)

W4 生体リズムと投薬タイミングに実証される時間治療の展望

大戸茂弘(九州大学・薬学研究院臨床薬学講座)

W5 ゲノム創薬と時間治療

赤羽浩一(第一製薬・創薬第3研究所)

18:00- 20:00 市民公開講座

健やかなくらしと生体リズム

座長 大川匡子 (滋賀医科大学)

粥川裕平 (名古屋工業大学)

1. 体が時を刻むメカニズム

本間さと (北海道大学)

2. ひきこもりと睡眠リズム障害

粥川裕平 (名古屋工業大学)

3. 体内リズムと生活習慣病

林 博史 (東邦ガス診療所)

4. 高齢化社会と生体リズム

大川匡子 (滋賀医科大学)

B 会場 (4 階 第 7 会議室)

9:00- 10:45 一般演題口頭発表 (基礎 : B-II)

座長 近大・医 足立明人
東大・理 岡野俊行

- B9 培養視交叉上核細胞の AVP 分泌リズムに及ぼす GABA の影響
独協医大 渡辺和人
- B10 体内時計機構におけるコレシストキニン受容体の役割
九大・薬 森田光貴
- B11 遺伝性視神経欠損ラット視交叉上核における c-Fos 発現リズム
宇都宮大・農 河野リエ
- B12 淡水魚カワムツ網膜におけるメラトニンとドーパミンの相互作用
島根大・生物資源科学 中村和臣
- B13 サンゴ礁魚類における月光認識と月齢同調性産卵リズム
琉球大・熱帯生物圏研 竹村明洋
- B14 ミトコンドリアと概日リズム
北里大・医 長谷川建治
- B15 概日リズム解析法の新提案一周期決定について一
阪大・理 横井佐代子

12:00- 13:00 ランチョンセミナー (III)

座長 佐々木三男 (東京慈恵会医科大学)

- L-3 私の日本時間生物学会の将来に期待するもの
国立精神神経センター 高橋清久
-

14:30- 16:30 一般演題口頭発表 (基礎: B- III)

座長 岩崎秀雄 (名大・理)

松本顕 (九大・大教センター)

B16 シアノバクテリア時計タンパク質 KaiC のリン酸化

名大・理 大川(西脇)妙子

B17 KaiC による包括的遺伝子発現制御とシアノバクテリアの概日システム

名大・理 近藤孝男

B18 ユーグレナの光周性に関わる光合成系シグナル

帯広畜産大・環境 後藤健

B19 ウキクサの光周性を分子レベルで再検討する試み

名大・理 小山時隆

B20 タンボコオロギ(*Modicogryllus siamensis*)後胚発生の光周制御

山口大・理 富岡憲治

B21 EFFECTS OF PIGMENT-DISPERSING FACTOR AND SEROTONIN ON THE
CIRCADIAN LOCOMOTOR RHYTHM IN THE CRICKET GRYLLUS

BIMACULATUS

山口大・理 MUNIYANDI SINGARAVEL

B22 interlocked feedback は安定化に役立つか?

東北大・情報科学 西村良周

B23 サーカディアンリズム温度補償性についての数理的研究

九大・理 黒澤元

C 会場 (4 階 第 3 会議室)

12:00- 13:00 ランチョンセミナー (IV)

座長 井深信男 (滋賀大学)

L-4 光と自律神経

阪大・蛋白質研究所 永井克也

ポスター発表 <11月14日(木)～11月15日(金)>

展望ホール (9階)

- P1 概日リズム解析法の新提案 –位相の決定について–
大阪大・理 浅原裕
- P2 シアノバクテリアの概日リズム関連ヒスチジンキナーゼ群の解析
名古屋大・理 木藤良沢
- P3 シアノバクテリア時計蛋白質複合体の細胞内における動態
名古屋大・理 景山伯春
- P4 概日リズムの遺伝子制御ネットワーク予測
慶應義塾大・先端生命研 三由文彦
- P5 ヒメツリガネゴケにおける色素体シグマ因子遺伝子 *Sig1, Sig2, Sig5* の
発現解析
名古屋大・人間情報学 市川和洋
- P6 ヒメツリガネゴケの *Lhcb* 遺伝子にみられる概日発現制御
名古屋大・人間情報学 青木摂之
- P7 線虫変異体の概日リズム
北里大・医 三枝徹
- P8 概日リズムが夜に大きな位相シフトを起こすことの源としての
cAMP-PKA 複合体
東北大・情報科学 石崎茂生
- P9 精神遅滞原因遺伝子 *FMR1* のショウジョウバエ活動リズムにおける役割
農業生物資源研 霜田政美
- P10 ニワトリ、ウズラ胚松果体および網膜におけるメラトニン抑制に関わる
アクションスペクトル解析：関与する視物質の推定
奈良女子大・人間文化 近藤智恵子
- P11 メダカにおける時計関連遺伝子の動態
名古屋大・生命農学 薦田昌純

- P12 サンゴ礁魚類ハナアイゴの月齢同調性産卵リズム
琉球大・熱帯生物圏 竹村明洋
- P13 鳥類の時計遺伝子と光周性
名古屋大・生命農学 安尾しのぶ
- P14 リズム・スプリッティングマウスの SCN における *mPer1*-driven GFP
リズムの検討
名古屋大・生命農学 渡辺剛史
- P15 NF κ B-1 ノックアウトマウスの概日リズム特性
名古屋大・生命農学 林憲子
- P16 鳥類の漏斗核において光感受相に光誘導される遺伝子の単離
名古屋大・生命農学 渡邊美和
- P17 Dexamethasone の輪廻し活動が corticosterone と異なるのは視交叉上核
での vasopressin の産生と分泌の違いによる。
名古屋市立大・医・脳神経生理 磯部芳明
- P18 リン酸化酵素における時計タンパク質の安定性への影響
産総研、東工大 飯高千智
- P19 制限給餌による末梢時計の位相シフトに機能型 CLOCK タンパク質は必要
ではない
産業技術総合研 大石勝隆
- P20 ラット新生仔の時計遺伝子発現リズムに対する母子分離ストレスの影響
北海道大・医・統合生理学 太田英伸
- P21 継続的刺激下における *rPer1* mRNA の発現
山口大・理 升本宏平
- P22 *Cry* deficient mice への制限給餌
山口大・理工 持田圭次
- P23 *Dexras1* の視交叉上核における発現リズム
山口大・理 福本美紗子
- P24 短周期明暗サイクルによるラット概日リズムの停止
(財) 東京都医学研究機構・神経科学総合研 臼井節夫
- P25 マウス、ラットの視交叉上核における HSPs の周期的発現
近畿大・医・第2解剖 長野護

- P26 眼球摘出ラットにおける視交叉上核腹外側部の *per1* の発現について
近畿大・医・基礎医学研 古河恵一
- P27 肝部分切除後における時計遺伝子発現パターンの検討
近畿大・医・第二外科 岩崎拓也
- P28 拘束ストレスによる摂食行動の変化と *Orexin* 遺伝子発現リズム
北海道大・医・統合生理学 遠藤拓郎
- P29 概日リズム発振における *Clock* 遺伝子変異の影響
早稲田大・人間科学・薬理 有働立太
- P30 ストレプトゾトシン投与マウスの肝臓における *PER2* 発現リズム
早稲田大・人間科学・薬理 笹原圭
- P31 メラトニン分泌リズムと睡眠習慣の関係
国立精神・神経センター、東京医科歯科大 木下郁美
- P32 深夜作業後の仮眠及び高照度光照射がその日の心拍数、体温に与える影響
帝京科学大・理工 高津洋貴
- P33 超短時間睡眠・覚醒スケジュール下の徐波の概日リズム
国立精神・神経センター 譚 新
- P34 生体リズムからみた術後せん妄の発症機序
滋賀医科大・精神医学、豊郷病院・精神科 中村英樹
- P35 近代以前の日本における光環境と睡眠習慣についての
時間生物学的考察（1）
— 平安文学「源氏物語」を題材とした予備的検討 —
京都工芸繊維大・繊維学 小山恵美
- P36 大学新入生における深夜帯の行動と睡眠パターンの変化
福島大・教育学 浅岡章一
- P37 都市部女子中学生の月経周期と朝型—夜型度の関係
奈良女子大・人間文化、高知大・教育学 竹内日登美
- P38 深夜番組が中学生の朝型—夜型に及ぼす影響
高知大・教育 門脇愛由
- P39 保育園児の朝型—夜型度に影響を及ぼす様々な因子
高知大・教育・環境生理学 廣谷昌昭
- P40 睡眠相後退症候群の地域差、季節性感情変化、気質に関する検討
藤田保健衛生大・精神 楠和憲

- P41 南極・日本における気分の季節性変動
山梨医科大・精神神経医学 碓氷章
- P42 概日リズム睡眠障害と精神疾患との関連：
武蔵病院リズム障害専門外来における調査結果について
国立精神・神経センター武蔵病院・心理指導部 吉田統子
- P43 非 24 時間睡眠覚醒症候群－視覚障害のない 57 自験例の検討－
国立精神・神経センター国府台病院・精神科 早川達郎
- P44 高齢者の時差ぼけ時メラトニンリズムの再同調過程の検討
法政大・文 高橋敏治
- P45 長期に光療法を施行した DSPPS 患者 2 例の PSG と体温リズムの検討
国立精神・神経センター武蔵病院 堀 達